

第 4 回会議資料（追加）

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----|
| 1 | 平成 2 3 年度岩手県競馬組合事業計画----- | 1 頁 |
| 2 | 「検討会議での意見」と「平成 2 3 年度岩手競馬事業計画」対応表--- | 9 |

岩手競馬経営の将来方向検討会議

平成 2 3 年 2 月 2 1 日

① 平成23年度岩手県競馬組合事業計画

平成23年度の岩手競馬は、平成18年11月20日に策定した「新しい岩手県競馬組合改革計画」（以下「新計画」という。）に基づき、お客様の期待や県民の皆様の信頼に応え、岩手競馬が地域に根ざした産業として、着実に継続発展できるよう、競馬関係者が一丸となって、持続可能で安定的な事業運営の実現に向け努めて参ります。

1 基本方針

岩手競馬のみならず地方競馬を取り巻く経営環境は、引き続き厳しいものと予測されますが、地方競馬と中央競馬との連携協調策の推進など、新しい動きを見据え、平成23年度は、次の3つの基本方針に基づき、持続可能で安定的な事業運営の実現に向けて取り組みます。

(1) 岩手競馬の『魅力』づくり

競馬の公正確保を基本に、岩手競馬に携わる関係者が一丸となって、円滑な競馬開催に全力で取り組むとともに、「お客様を第一に」を基本姿勢とし、県内及び全国のファンの皆様に岩手競馬を楽しんでいただけるよう事業を展開します。

そのため、ダートグレード3競走や全国シリーズ競走（重賞競走）の施行、芝競走やレース・バリエーションの充実などにより、魅力あるレースを提供するとともに、効果的な広報展開や来場促進イベントの開催等により、多くのお客様に「来て」、「楽しんで」、「買って」いただけるよう、岩手競馬の『魅力』づくりに取り組みます。

(2) 岩手競馬の『つながり』づくり

「岩手競馬・みんなで応援ネットワーク」など岩手競馬の応援団・ファン組織との連携や、生産者団体・民間企業による協賛レースの実施など、新たな視点やアイデアを取り入れた様々な取組を企画、実施します。

また、厳しい経営環境のもとで、各地方競馬主催者や中央競馬会（JRA）との連携強化が一層、重要となっており、広域受委託発売をさらに拡充するとともに、JRAや他地区との交流の充実に努めます。

こうした取組により、県民はもとより、全国のファンに「愛され、支持される岩手競馬」を目指し、民間や企業、さらには全国との『つながり』づくりを推進します。

(3) 岩手競馬の『基盤』づくり

平成22年度まで4年連続で、収支均衡を達成する見通しとなりましたが、平成23年度においても、一層の業務の効率化を進めるとともに、引き続き、競馬関係者が一丸となって安定的な事業運営に取り組みます。

また、平成24年度からの地方競馬共同トータリゼータシステムの運用開始や、JRAとの勝馬投票券の相互発売の拡大などの取組が、将来の経営改善に着実につながるよう、新たに創設される地方競馬全国協会の助成制度等を活用しながら、発売体制の効率化や馬資源の確保等に努め、岩手競馬の将来を見据えた『基盤』づくりを推進します。

2 参加型の組織運営

競馬組合公式ホームページやアンケート調査によるお客様からの提言等、岩手競馬の振興に向けた広範な意見をいただき、事業運営に反映します。

また、岩手県競馬組合運営協議会※において、引き続き、持続可能で安定的な事業運営の実現に向けた協議を行い、競馬関係者が一丸となった事業運営に取り組みます。

※ 平成19年度設置。競馬組合、構成団体及び競馬関係団体（馬主会、調騎会、厩務員会）等で構成。

3 開催日程及び競走計画

平成23年度の競走は、21開催、年間124日、1日11レースを基本に、重賞競走、特別競走及び一般競走を合わせて、年間概ね1,350レースを実施します。

【開催場別開催回数】

開催場	開催回数（期間別）							合計	
	4月～10月※					11月～	計		
水沢競馬場	3回		2回		2回		6回	13回	21回
盛岡競馬場		2回		3回		3回		8回	

※ 4月～10月までの期間：2～3開催ごとに開催場を移動。

※ 以下、☆印は新規の取組

（1）開催日程（わかりやすく、来場しやすい開催日程）

① わかりやすい開催日

これまでと同様、岩手競馬ファンに浸透している「土・日・月曜日」を基本としたわかりやすい開催日程とします。

② 来場しやすい開催日

より多くのお客様に来場いただけるよう、ゴールデンウィークや年末年始など、一部の期間においては、祝日などを取り込んだ日程とします。

③ 薄暮競馬の拡充

より多くのお客様に参加いただけるよう、季節的要因やJRAの発走時刻等を踏まえ、日数を拡大するとともに、開催時間帯の見直しを行います。

④ 柔軟なレース数の配置

1日のレース数は、季節的要因等を勘案しながら、12～10レースで施行します。

（2）競走計画（魅力あるレースの提供）

① ダートグレード競走の施行

平成24年度からのJRA電話投票システムによる発売を見据え、グレード3競走（南部杯（JpnⅠ）、マーキュリーカップ、クラスターカップ（JpnⅢ））を施行します。

また、話題性、注目度の高いダービーグランプリなど、全国交流を含めた重賞競走を21競走実施します。

② 全国シリーズ競走の施行

全国発売となる注目度の高い3つのシリーズ競走に対応した重賞競走を施行します。

・グランダム・ジャパン（牝馬重賞競走）

／ 日高賞（3歳1,600m）、ビューチフル・ドリーマーカップ（オープン1,900m）

- ・ダービーウィーク／岩手ダービーダイヤモンドカップ（3歳2,000m）
- ・未来優駿／若駒賞（2歳1,600m）

③ 芝競走の充実

岩手競馬の特色である地方競馬唯一の芝コースを活かした競走番組の編成に取り組み、レースの多様化を図ることとし、重賞競走を新設するほか、一部特別競走を全国地方交流競走として実施します。

- ・短距離体系の整備（☆）
きんもくせい賞（特別競走、1,000m）の賞金を増額し、重賞競走に格上げします。
- ・全国地方交流競走の実施（☆）
特別競走のうち、B1級以下の7競走を全国地方交流競走として実施します。

④ 2歳馬資源の確保強化（☆）

地方競馬全国協会の事業を活用し、一部の競走について賞金を増額するとともに、他地区からの転入制限の緩和等により、2歳馬資源の確保を図ります。

⑤ 短距離競走の新設（☆）

競走距離のバリエーションを増やすため、C2級の一般競走に短距離競走を新設します。（盛岡（ダート）1,000m、水沢850m）

⑥ ホッカイドウ競馬との連携強化（☆）

ホッカイドウ競馬との相互交流を推進するため、2歳馬の交流競走（特別競走／知床賞、1,600m）を実施します。

⑦ レディースジョッキーズシリーズの実施（☆）

全国3競馬場で開催される女性騎手の競演「レディースジョッキーズシリーズ」の第1戦・第2戦を水沢競馬場で実施します。

⑧ 騎手招待レースの実施（☆）

岩手競馬への話題喚起及び発売額の向上を図るため、新たに騎手招待競走を実施します。

⑨ 選抜戦、ハンデ戦の実施

レース構成に変化を与え、より白熱したレースを提供するため、特定クラス（C2級）において着順を基本に編成する選抜戦を実施するほか、賞金ハンデ戦、騎手ハンデ戦を継続して実施します。

⑩ スタリオンシリーズの継続

平成19年度から重賞競走等で実施しているスタリオンシリーズ※は、引き続き生産団体等からの協賛をいただき、内容を充実し継続して実施します。

※ 生産団体等より、優勝馬の馬主に対し副賞として種牡馬（しゅぼば＝スタリオン）の配合権利が贈られる競走

〔開催日程及び競走計画の主な概要〕

項 目	平成 23 年度計画（予定）	平成 22 年度
開催回数、日数及び期間	○ 21 開催（水沢 13 開催、盛岡 8 開催） ○ 124 日 ※「土・日・月」を基本に開催	・ 22 開催 （水沢 14 開催、盛岡 8 開催） ・ 130 日（うち特別競馬 6 日間）
レース数	○ 年間概ね 1,350 レースを基本 ○ 1 日 12～10 レース（11 レースを基本）	・ 1,411 レース（予定）
ダート グレード競走 （暫定※）	○ マーキュリーカップ（JpnⅢ）：7/18（祝月） ・ 盛岡競馬場、2,000m（サラ系 3 歳以上） ○ クラスターカップ（JpnⅢ）：8/15（月） ・ 盛岡競馬場、1,200m（サラ系 3 歳以上） ○ 南部杯（JpnⅠ）：10/10（祝月） ・ 盛岡競馬場、1,600m（サラ系 3 歳以上）	・ 変更なし ・ 変更なし ・ 変更なし
重賞競走	○ 年間 21 レース	・ 21 レース
特別競走	○ 年間概ね 70 レース	・ 70 レース
芝競走	○ 年間概ね 50 レース	・ 50 レース

※ ダートグレード競走は、2月に開催される「日本グレード格付け管理委員会」において最終的に決定されることから、それまでの間は「暫定」としての取扱いとなります。

4 お客様サービス計画

県内をはじめ、全国のより多くのお客様に岩手競馬を楽しんでいただけるよう、次のとおり取り組みます。

（1）多くのお客様に来ていただき、楽しんでいただく（競馬への参加促進）

多くのお客様に来場・参加していただき、もっと岩手競馬を楽しんでいただけるよう、テレビ・ラジオ・インターネットなど各種媒体を組み合わせた効果的、継続的な告知・情報発信を行うほか、繰り返しご来場いただけるようなイベントの開催やサービス提供に努めます。

〔告知・PR・情報発信／主な内容〕

- ダートグレード3競走及び根幹重賞競走を核としたシリーズ化による重点的な広報の展開
- まるまる1週間、岩手競馬を楽しんでいただく「ウマウマ生活」を柱としたテレビ、ラジオ、インターネットを連動させた継続的な告知・情報発信
- 地元マスコミ、全国スポーツ紙、インターネット事業者等への積極的なニュースリリース等による岩手競馬の露出機会の増加
- インターネット事業者等とタイアップした全国的な広報展開
- 構成団体、競馬関係各団体、支援組織及び地元商店街等の協力による開催等の告知やポスター掲出、PR用パンフレットの配布

〔イベント展開・サービス提供／主な内容〕

- 広報のシリーズ展開に連動したイベントの実施
- 次回施行の重賞競走や開催イベントのポップ等の設置
- 特別観覧席ポイントサービスの実施

- ファン感謝デー、レディースデー等の実施
- 「岩手競馬・みんなで応援ネットワーク」等との連携による新規ファンの獲得、リピーターの来場意欲向上促進
- 地元企業、市町村観光協会等とのタイアップによる協賛イベントの実施
- マスコミとのタイアップ等による競馬観戦ツアーの実施、ツアーメニューの充実

(2) 多くのお客様に買っていただく（発売促進）

多くのお客様に岩手競馬を買っていただけるよう、勝馬投票券購入者を対象としたプレゼント等の実施や、勝馬投票券購入につながるような情報提供に努めます。

【発売促進／主な内容】

- 勝馬投票券購入者へのファンプレゼント、各種キャンペーンの実施
- 全発売所及びインターネットでの勝馬投票券購入検討に資する情報提供番組（月曜日）の放映（☆）
- 広域委託発売及びインターネット発売促進のための全国スポーツ紙への馬柱掲載やインターネットでの情報発信強化
- 「ウマウマ生活ステーション（岩手競馬サポーターズネット）」を活用した情報提供
- インターネットによる参加型イベントの実施
- インターネット大口購入者を岩手競馬へ誘導するためのサービス提供（☆）

5 収支計画

(1) 発売収入計画

平成 22 年度の最終発売収入見込額をもとに、次のとおり、平成 23 年度の発売収入計画額を定め、発売額の確保に努めます。

① 自場発売

水沢、盛岡両競馬場及び県内外に設置している場外発売所において、お客様に身近に岩手競馬を楽しんでいただけるよう、イベントやサービスの提供に努めます。

【自場発売計画額】 (単位：百万円)

平成 22 年度 最終見込額	平成 23 年度 計 画 額	増減額	主 な 増 減 理 由
11,184	10,174	△1,010	・平成 22 年度の発売額及び発売動向を勘案

② 広域委託発売

他主催者との連携を強化し、より多くの地域で岩手競馬を発売できるよう努めます。

【広域委託発売計画額】 (単位：百万円)

平成 22 年度 最終見込額	平成 23 年度 計 画 額	増減額	主 な 増 減 理 由
4,878	4,878	0	・平成 22 年度と同額を確保

③ インターネット発売

岩手競馬を広く全国のお客様にも楽しんでいただけるよう、情報発信の充実強化に努めます。

【インターネット発売計画額】

(単位：百万円)

平成22年度 最終見込額	平成23年度 計 画 額	増減額	主 な 増 減 理 由
2,987	2,895	△92	・開催日数の減を反映

④ 広域受託発売

お客様に年間を通して競馬を楽しんでいただけるよう、岩手競馬非開催日に他地区地方競馬の発売を行います。

また、多様化するライフスタイルに合わせ、昼間競走とナイター競馬のリレー発売にも積極的に取り組み、お客様のニーズに沿った参加機会の提供に努めます。

【広域受託協力金計画額】

(単位：百万円)

平成22年度 最終見込額	平成23年度 計 画 額	増減額	主 な 増 減 理 由
1,224	1,199	△25	・受託発売日の減を反映

(2) 支出計画

競馬関係者の理解や協力のもと、次のような基本的な考え方にに基づき、平成23年度の支出計画額を定めるとともに、持続可能で安定的な事業運営の実現に向け取り組みます。

- ① 新計画における経営指標「競走関係費概ね8%以内の額」「事業運営費概ね16%以内の額」「財務経費概ね1%程度」の枠組みに基づき、持続可能で安定的な事業運営に努めます。
- ② 競走関係費について、限られた予算の中にあっても賞金及び手当の水準を維持するとともに、三冠達成馬(※)には特別奨励金を支給します。
また、新たに2歳馬の一部競走について賞金を増額するほか、重賞競走の充実を図ることなどにより、お客様に支持いただけるようなレースの質と馬資源の確保に努めます。
※ 2歳三冠／若駒賞、南部駒賞、金杯
3歳三冠／ダイヤモンドカップ、不来方賞、ダービーグランプリ
4歳以上三冠／シアンモア記念、みちのく大賞典、桐花賞
- ③ 事業運営費について、経営指標の枠組みに基づき、内部経費や委託業務等の内容を見直しするとともに、お客様へのサービス内容に配慮しながら効果的な予算執行に努めます。
- ④ 平成24年度からの地方競馬共同トータリゼータシステムの運用開始やJRAとの勝馬投票券の相互発売を見据え、地方競馬全国協会が新たに創設する緊急対策事業(※)などを活用して、投票端末や映像モニターの整備等を進めます。
また、発売額の低下により収益の悪化が見込まれる場外発売所を閉鎖するなど、発売規模に見合った事業体制、収支構造への転換を進めます。
※ 地方競馬主催者の経営改善に向けた早急な取組を支援するため、地方競馬全国協会が平成23～24年度に予定している助成事業等

(3) 収支計画額

(単位:百万円、%)

項 目		平成22年度		平成23年度 計画額 ③	増 減 額		
		当初計画額 ①	最終見込額 ②		③-①	③-②	
岩手競馬 発売収入	自場発売	13,056	11,184	10,174	△ 2,882	△ 1,010	
	広域委託発売	5,060	4,878	4,878	△ 182	0	
	インターネット発売	2,854	2,987	2,895	41	△ 92	
	計 (A)	20,970	19,049	17,947	△ 3,023	△ 1,102	
その他 収入	広域受託協力金	1,191	1,224	1,199	8	△ 25	
	その他	328	455	405	77	△ 50	
	計 (B)	1,519	1,679	1,604	85	△ 75	
収入合計 (C=A+B)		22,489	20,728	19,551	△ 2,938	△ 1,177	
売上原価 (D)		16,953	15,479	14,633	△ 2,320	△ 846	
総利益 (E=C-D)		5,536	5,249	4,918	△ 618	△ 331	
販 売 費 及 び 管 理 費	競走関係費(賞典費)	(8.0)	(8.3)	(8.2)			
		1,795	1,717	1,610	△ 185	△ 107	
	事 業 運 営 費	施設・情報システム費	1,547	1,387	1,298	△ 249	△ 89
		開催労務費	655	629	616	△ 39	△ 13
		営業販売費	159	196	136	△ 23	△ 60
		人件費	309	297	273	△ 36	△ 24
		その他販売・管理費	1,023	985	952	△ 71	△ 33
	小計	(16.4)	(16.9)	(16.8)			
	3,693	3,494	3,275	△ 418	△ 219		
計 (F)	(24.4)	(25.1)	(25.0)				
	5,488	5,211	4,885	△ 603	△ 326		
営業損益 (G=E-F)		48	38	33	△ 15	△ 5	
営業外費用(支払利息) (H)		(0.1)	(0.2)	(0.1)			
	33	33	23	△ 10	△ 10		
経常損益 (I=G-H)		15	5	10	△ 5	5	
特別損益	特別利益 (J)	156	131	136	△ 20	5	
	特別損失 (K)	156	131	136	△ 20	5	
当期利益 (I+J-K)		15	5	10	△ 5	5	

注1 「販売費及び管理費」、「営業外費用」の行中、上段の下線を付してある()内の計数は、「収入合計(C)」に対する割合であること。

2 端数調整等により、合計が一致しないこと。

平成 23 年度 岩手競馬 事業計画のポイント

(H23. 2 岩手県競馬組合)

事業計画のポイント

3つのキーワード

具体的な取組(主なもの)

【開催日程等】

土日月開催
21 開催(124 日)

① 『魅力』づくり

「来て」、「楽しんで」
「買って」いただける
『魅力』づくり

競走計画

- グレード3 競走
- 全国シリーズ競走(重賞)
- 芝競走の充実
- 2歳馬資源確保強化【新】
- 短距離競走新設【新】
- 薄暮競馬の拡充

お客様への計画

<競馬への参加促進策>
■グレード3 競走等を核としたシリーズ化広報
■「ウマウマ生活」を柱にした継続的情報発信
■企業協賛イベント等の実施

② 『つながり』づくり

岩手競馬応援団・ファン組織
生産者団体、民間企業、
他主催者、JRA等との
『つながり』づくり

- ホッカイド競馬との
2歳馬交流競走【新】
- レディースジョッキーズシリーズ
第1・第2戦【新】
- 騎手招待レース【新】

賞
金
水
準
維
持

<発売促進策>
■全国スポーツ紙に馬柱掲載
■場内・ネットでの情報提供番組(月曜)放映【新】
■インターネット大口購入者へのサービス提供【新】

③ 『基盤』づくり

JRAとの相互発売等
将来を見据えた
『基盤』づくり

- 地方競馬共同トータリゼータシステムの構築(H24 運用開始)
- 統合ネットワークの運用開始(H23~)
- 地方競馬全国協会助成金(緊急対策等)の活用(端末更新による効率化)

☆ お客様の期待、県民の信頼に応え、地域に根ざした産業としての着実な継続発展

☆ 競馬関係者が一丸となって、持続可能で安定的な事業運営の実現

② 「検討会議での意見」と「平成23年度岩手競馬事業計画」対応表

【☆：新規】

意見	23年度事業計画
情報発信	
競馬ファン以外にも届く情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ まるまる1週間、岩手競馬を楽しんでもらうために、「ウマウマ生活」を柱としたテレビ、ラジオ、インターネットを連動させた継続的な告知・情報発信 ■ 地元マスコミ等への積極的なニュースリリースによる露出機会の増加 ■ 構成団体、支援組織等の協力によるポスター掲出、パンフレット配布
全国への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国スポーツ紙への馬柱掲載、インターネットでの情報発信
集客・ファン拡大	
IT活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ インターネット大口購入者を岩手競馬に誘導するためのサービス提供☆ ■ 勝馬投票券の購入検討に資する情報提供番組の放映（月曜日：全発売所・インターネット）☆ ■ インターネット事業者等とタイアップした全国的な広報展開
幅広い客層へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ファン感謝デー、レディースデー等の実施 ■ 「岩手競馬・みんなで応援ネットワーク」との連携による新規ファンの獲得
観光関係等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元企業、市町村観光協会等とのタイアップによる協賛イベント ■ マスコミとのタイアップ等による観戦ツアー実施、ツアーメニューの充実
売れる商品づくり	
薄暮競馬の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開催時間帯等を見直し、可能な限り薄暮競馬の開催日数を拡大
芝競走の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 芝コースを活かした競走番組の編成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「きんもくせい賞」（オープン：芝1,000m）を重賞競走に格上げ☆ ・ 芝特別競走（B1級以下7競走）を全国地方交流競走として実施☆
全国との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国の地方競馬主催者との連携による競走の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国シリーズ（牝馬重賞、ダービーウィーク、未来優駿） ・ ホッカイドウ競馬との交流競走（2歳馬）☆ ・ レディースジョッキーズシリーズ（JRA・地方競馬所属の女性騎手）☆ ・ 騎手招待レース☆
馬資源の確保	
賞典費の維持	<ul style="list-style-type: none"> ■ 限られた予算の中にあっても、賞金及び手当の水準を維持
2歳馬の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2歳馬確保のため、一部競走の賞金増額、他地区からの転入制限の緩和等☆
優秀馬の育成等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三冠達成馬に特別奨励金を支給（2歳三冠馬、3歳三冠馬、4歳以上三冠馬） ■ 生産団体等の協賛をいただき、スタリオンシリーズを継続（H19～）
収支計画	
現実的な発売見通し	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現実的な発売見通しを踏まえた収支計画（前年比較：当初比△14.4%）
将来に向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ■ JRAとの相互発売等を見据え、投票端末、映像モニター等を整備
不採算部門の廃止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収益の悪化が見込まれる場外発売所の閉鎖